



そんけい すべき ムスリム の みなさま！

あるひ、よげんしゃのマスジドできょうゆうのなんにんかがぎろんしていました。ジャーヒリーヤのかちかんをもって、おたがいのじんしゅやぶぞくのゆうれつをきそいはじめました。そのうちのひとりが、イラン生まれで、よげんしゃ (saw) からもちかくひょうかされていたサルマーン・アル＝ファーリスィーに、ちょうはつてきなたいどでたずねました。「あなたはどのぶぞくしゅつしんですか、どんなちすじですか。」サルマーン (ra) はこたえていいました。「わたしはサルマーン、イスラームのこです。」それからつづけていいました。「わたしはまよえるものでしたが、アッラーがよげんしゃ (saw) とともにみちびいてくださいました。わたしはまずしいものでしたが、アッラーがムハンマド・ムスタファとともにとませてくださいました。わたしはどれいでしたが、アッラーがそのしととともにかいほうしてくださいました。」これをきいていたウマル (ra) は、そのばにいわせたひとびとに、「わたしのぶぞくをしりたいですか？」とたずね、それからつづけていいました。「わたしはウマル、イスラームのこサルマーンのきょうだいです。」

しんあいなるムスリムのみなさま！

ムハンマド (saw) のウンマになるということは、「ほんとうに、あなたがたのこのきょうどうたいが、あなたがたのゆいいつのきょうどうたい。そしてわれは、あなたがたのしゅである。それゆえ、われにつかえなさい」¹ というしよくをかたくまもり、タウヒードにもとづいたイスラームのしんこうをうけいれるということです。それは、よくあつしゃにたいしてはだんけつしてたちむかうことにもとづくどうほうあいのしんこうをうけいれるということです。

わたしたちのよげんしゃ (saw) のウンマになるということは、「あなたがたは、もつともよいきょうどうたいとしてひとびとのなかにたちあらわれた。あなたがたはしんせつをすすめ、ひどうをきんじ、アッラーをしんじる。……」² というしよくにしたがい、ただしくしどうし、しんりへとあんないするものであることをいみします。それはすべてのひとびとにせいぎとぜんをもたらす、よくあつとあくのはいじよにつとめるということです。

アッラーのしと (saw) のウンマになるということは、ひとつのこころ、ひとつのからだであることをいみします。しんこうをとともにするきょうだい、しまいを、てきのいいようにしておくことはできません。たすけもせず、ごりつさせたままにすることはできません。じんせいのあらゆるばめんにおいて、よげんしゃ (saw) の「ムスリムはたがいのきょうだいである。よくあつしたり、よくあつしゃにひきわたしたりしてはならない。……」³ というハディースをみちびきとしてうけいれることです。

こんしゅうのきんようれいはいのホトバを、ウンマであることのせきにんをおもいおこさせる、アッラーのしと (saw) のつぎのハディースをもっておわります。「たがいに、ひつよういじょうにものねだんをつりあげないように。たがいにねたみあわず、にくみあわないように。たがいをみすてないように。アッラーのしもべたちよ、きょうだいでありなさい。」⁴

¹ Anbiya, 21/92.

² Ali 'Imran, 3/110.

³ Muslim, Birr, 58.

⁴ Muslim, Birr, 58.